

大地震  
大津浪

未代噺廻種

二編全

71

2954

2



# 東海道 地震津波 夫代噺種

京  
はまのぢん  
つらと信因  
大いよあま  
されどもけ  
平安のい  
まつら  
皇の御威  
徳と作が  
まふべし



大津  
地ん大ゆり人あぢく  
はなはわわらまれもけぢま

草津  
ぢん大ゆり人あ三  
らんあまのまあま

石部  
地ん大ゆり人あ六  
地ん大ゆり人あ六

水口  
右日人あ六七  
寺一軒倒是死人三

土山  
右日三日の夜  
ゆらゆらと騒がかりし

坂下  
地ん大ゆり人あ大  
月くは山あまらわら

関  
右日人あ大  
まあまけんけが人あ

龜山  
川城まて校ト町  
びり例まあまあま

兵野  
地ん大ゆり人あ三  
あまらまらま死人

石部  
日人あ大  
十まんがらあまけが

四日市  
日あ日とも  
ぢん大ゆり人あ  
あ六十まん倒是

素名  
大ぢんの後  
漢のまは流ま死人



官  
日人あ三  
まあまらまらま

昭海  
大ゆりつらま  
まあま死人けが

池田  
大ゆりつらま  
ゆらゆらと騒がかりし

岩崎  
右日人あ大  
まあまけんけが人

右日人あ大  
まあまけんけが人

# 東海道未代嘯種地震津波

**辰川** 地じん後つらきこそ人  
たむさつづき死人多し

**赤坂** 日つらきこそ七かきり  
ちかき死人けが人おびきり

**四浦** 大ぢんこそ  
人おびきり死人  
けが人おびきり後  
つらきこそこそ流し  
又死人けが人おびきり



**二川** ぢじん後つらきこそ  
さあつづき死人多し

**白浜** 日つらきこそ七か  
をりつらき

**新居** 大ぢんこそ  
海老の大小つら  
のりつらき流し  
所因所つらき  
死人多し



**赤坂** ぢじん後の大つらき  
こそ一秋のそら流し

**淡松** 地じんこそ人おびきり  
死人多し

**見付** ぢじんつらきこそ  
お流しこそども死人多し

**袋井** ぢじんこそ人おびきり  
お流しこそお流し


**掛川** 地じんこそ人おびきり  
例はお流しお流し

**日坂** 地じん後つらきこそ  
の破そんのこそお流し

**今居** ぢじんこそ人おびきり  
お火とお七八かをりやける

**碓田** ぢじんこそ人おびきり  
お流しつらきこそ八九か流し

**石戸** 大ぢんこそ  
川との山ごらお流し  
せきお流しお流し  
場お流しお流し  
お流しお流し



**赤坂** ぢじんこそ人おびきり  
お流しお流しお流し

**長部** ぢじん後つらきこそ  
お流しお流し

# 東海道 未代 嘯種 地震津波

トノ三

**九子** 大ぢーん後お火とぬ

火と防ぐるうりこじん丸中け

**府中** 地ーんうまく人家例ま

江川町よりお火とを逃中ける

**江尻** 日ドくお火とぬり丸

中の人死けが人多くあり

**中津** ぢーんの後つらうとて

こまつぶまぬ人けが人多い

**由井** ぢーんして人家換

多それどもを難

**蒲原** 地震

よて人家

例まお火と

ちり焼のる

せかありが

大つらうと押

まりく

のりの

人家

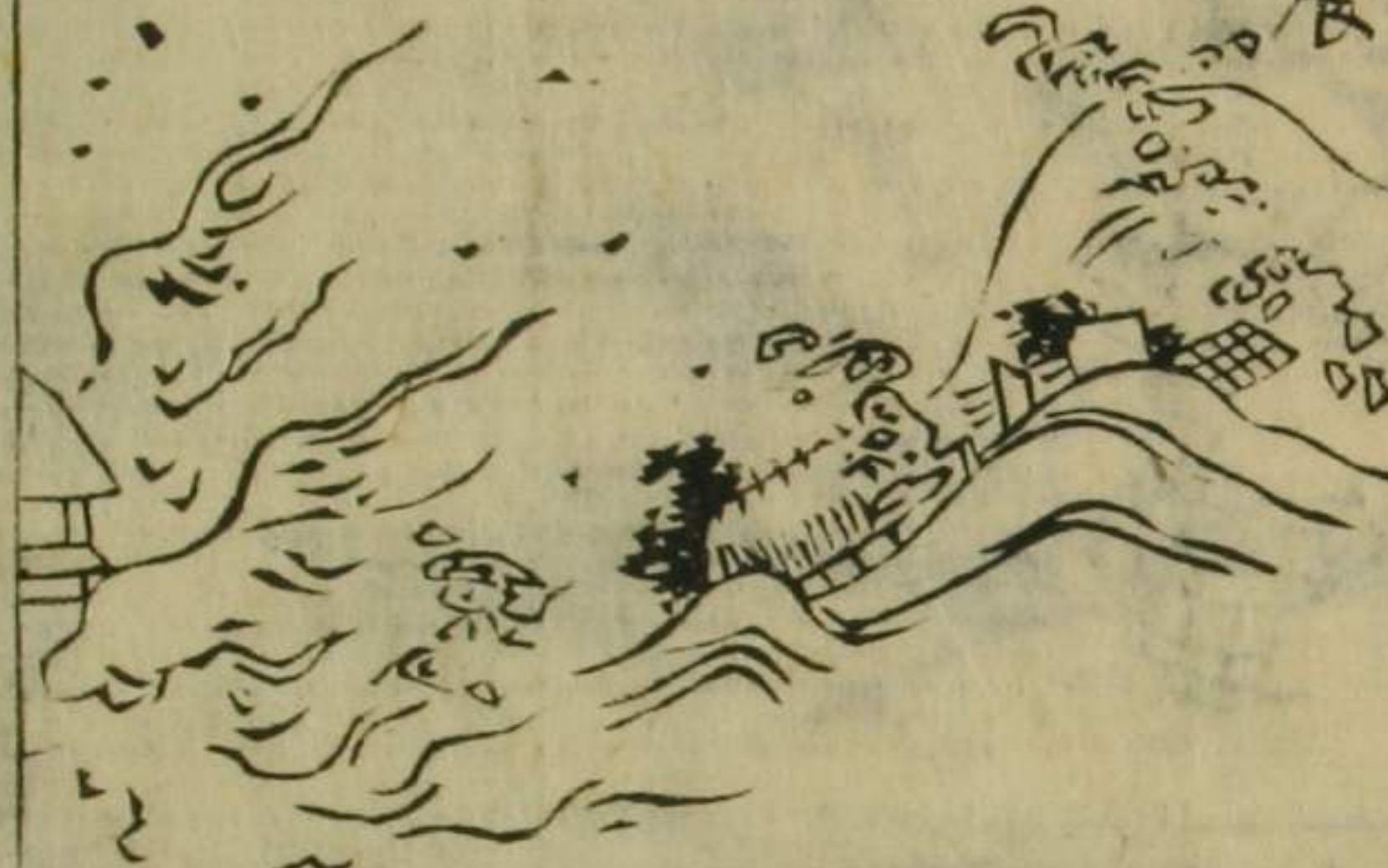
海舟へ

まうとこむ

**若原**

ぢーんの後お火とあり

せびぐるうらうら丸中け



**系** 浪津 三海 け三宿の

地ーんのを強それどもを難

**新橋** 地ーん烈しく水事ぢーん

三ヶ所おる山大荒津来ぬる

**小田原** ぢーんつらく人家おく

家は換一家おらうら

**大板** 平塚 友次 大塚

**新橋** 津島川 品川

右七級とまおくつて遠いあれ

ども大座小田系とゆえ

**江戸**

十一月四日

地ーん山を

交方系

町お多く

さる町

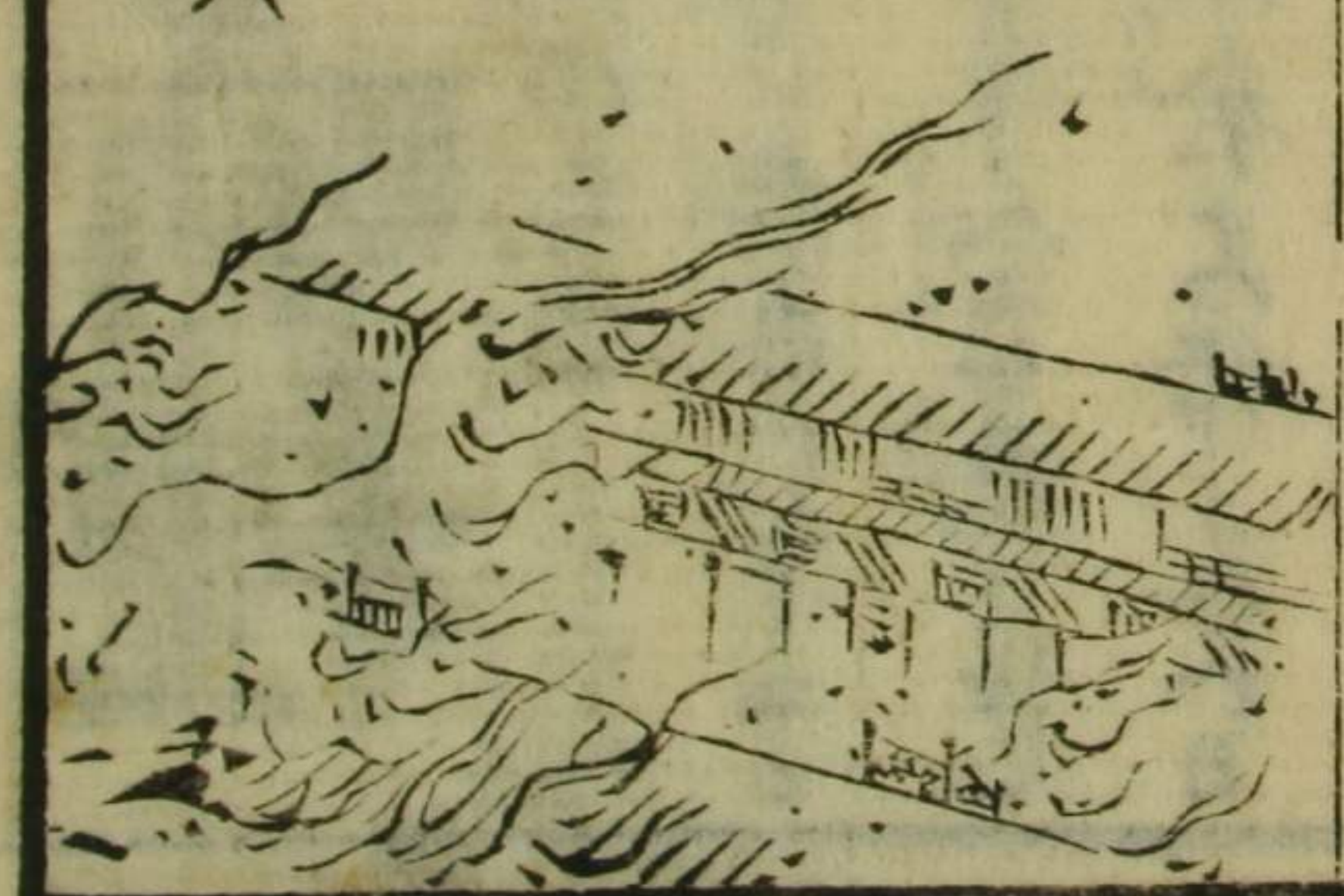
十丁ウラ

出火と

芝居と

焼失けが人

ら



# 大津波來代噺種



ちあ  
 カレノ  
 浦十三  
 里が  
 津波  
 ちあ  
 坂井飯取朝の原村より津波  
 まぐ二里計二尺行ぐ地割  
 牛馬落也死と○河波津  
 大ゆりそん家倒も皆人  
 西町まで丁目三丁目まで  
 八百屋町中町地住町新  
 町紙屋町等々まで一  
 岸々浜小路まで屋敷敷  
 町家も二三百軒焼失

○浪あそ松大ゆりそん人  
 家も手岩○丸毎いかりゆり  
 ちりちりまども人か換下後  
 ○考あ小倉大地一ん目  
 申の刻より移り烈しく市  
 中大浪難我中みさ度ゆり  
 七日船又一入ゆり人か  
 換下敷○肥後新  
 右のり○考後浪津大ゆり  
 人かそ手つるも死人うむ  
 志是氏府門人か口百えん  
 外々も死人けが人致不知  
 を中国海より地へんまで  
 一々も格ふのりは  
 物く度入器凡



# 大地震津波末代新種

○慶應義塾十一月四日辰の

刻大地震八日申の刻又

大地震八日申地震七且

大ゆりむはみ六日終と二十

みおなまそ殺殺おあ身がさ

く大をゆりつづけよそあ

内二居るまははやく野省

うそ凌ごごやんは城の失倉

大そんどりああ中ああ町家

あまは換ドゆびくは怪あ

人あくゆり市中あはあ

の橋殺を所ゆり岸あ

○東いあはああまあはく

地しんありああああゆる

あああてあああああ

○紀元

若山地ん

烈しくあは

大つらあああ

湊の船川と冊

丁館のあを突上

碎るあ殺あああ

○田舎あ城下二分あり津波

うそ流あああああ出火

焼るあ湯湯六百あ津波

うそ押あああああ千輪

ありのああああああ

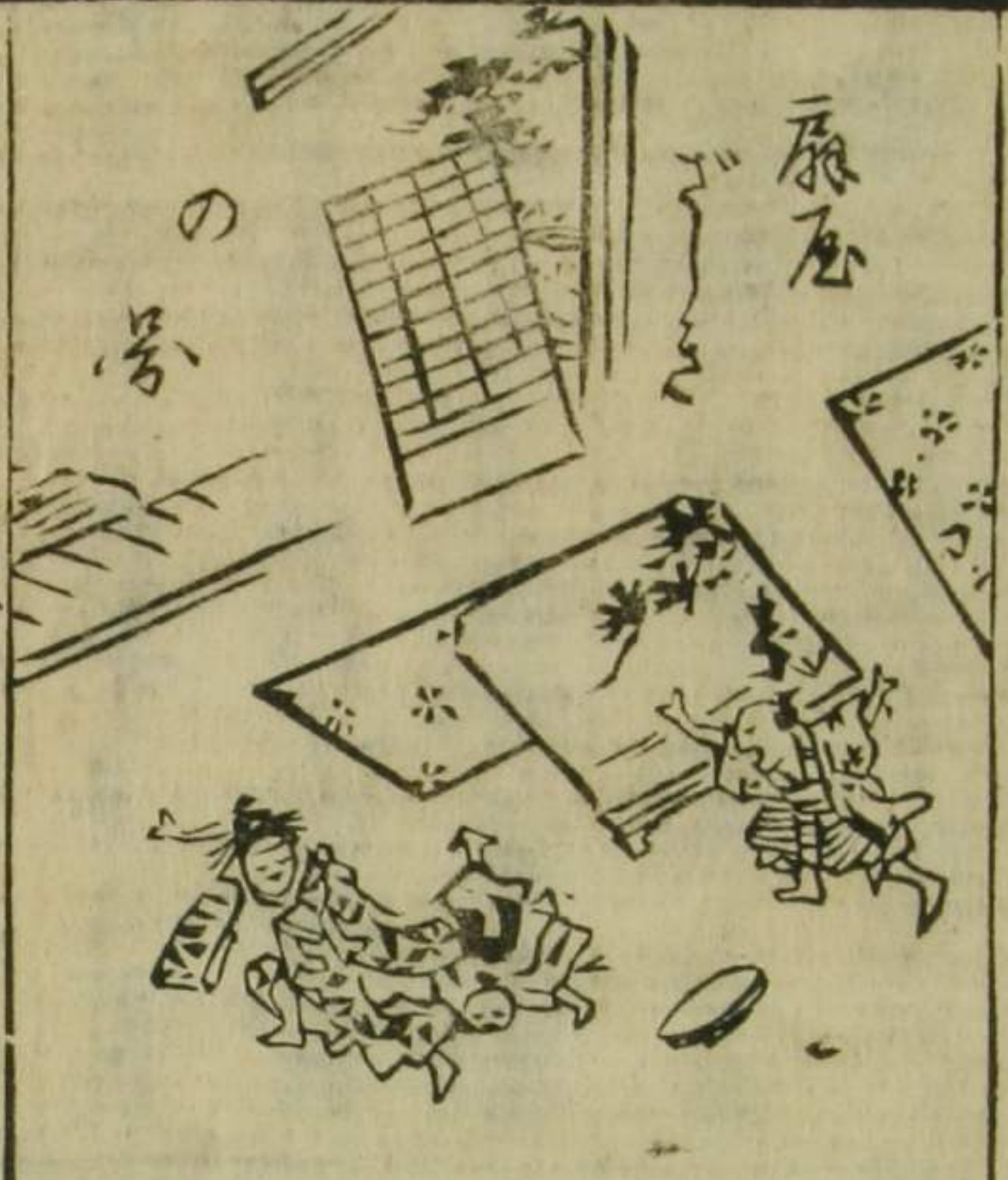
のあ日方あああああ

あ津ああああああ

あああああああ



# 大地震未代割種



○新町東扇屋のごり  
 衆のそのとを換<sup>サ</sup>じ  
 ○河波産戸を町小るの  
 ぐる西南大ゆぐま  
 ぐりあお例の人あ七八  
 えん大くぐままより  
 西の角中きまより  
 サみ新大くぐまより  
 ぐりあお東南人あ十  
 新ぐり崩る

○永代漢大ち衆  
 ○系町垢お板ぐり  
 西角漢ぐり人あ三かん  
 ぐりま出火とお  
 火まづより



○日あまぐり  
 町西角あ十  
 ぐりあまぐり  
 子連火まづ  
 ○日紀伴あ  
 ぐりあまぐり



# 大地震未代新種

△新中げ ぬわ角なる

△堀に土佐の口の中とて疎

さる針換ド

△幸永橋西詰南へ入所の

人家二三軒なる

△浄地橋西詰裏のち海と

づきなる

△安治川畔正寺本堂大換

しんま葉男倒る

△同三丁目人家十二三軒

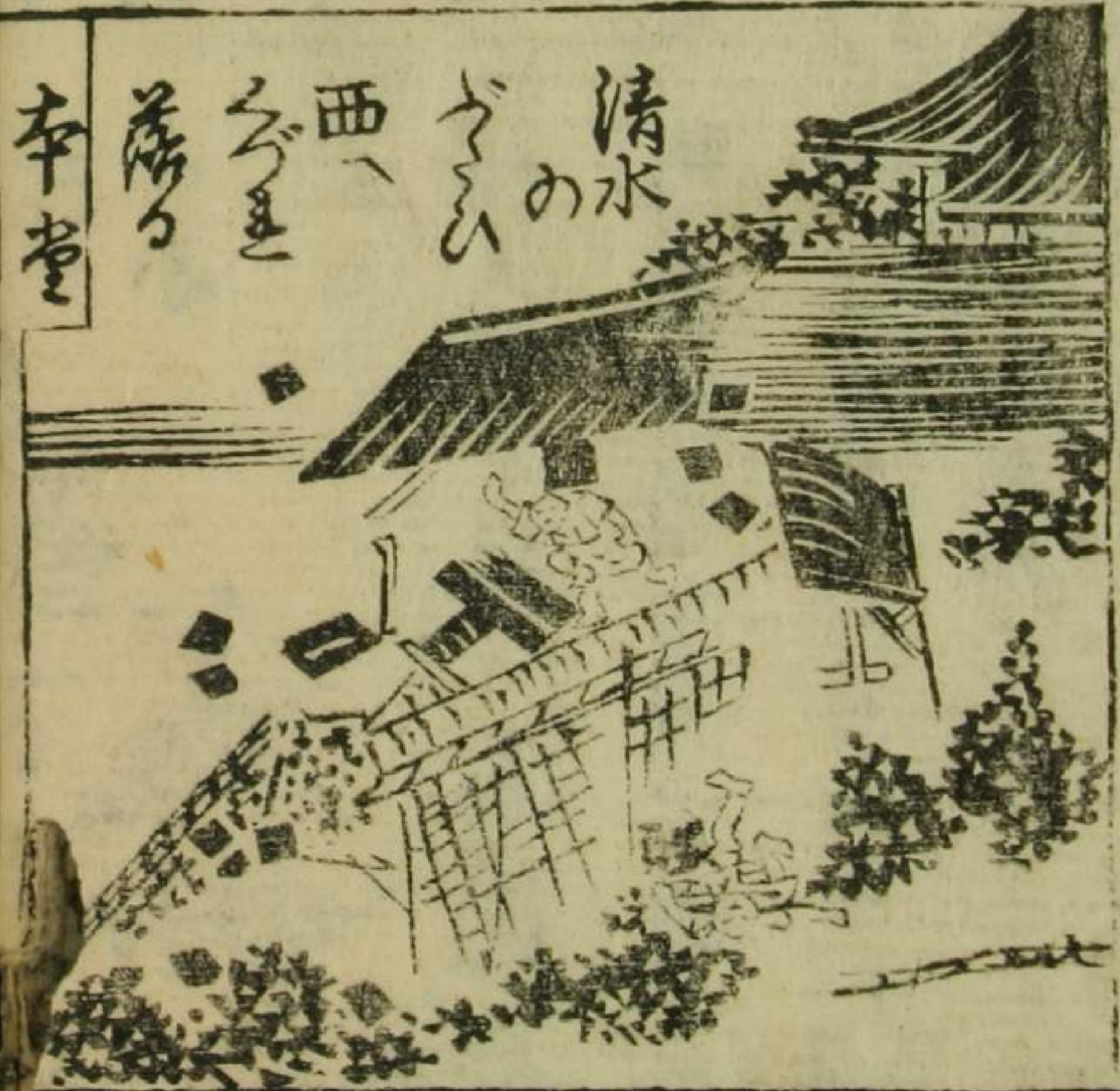
をりなる

△同西詰橋西詰軒づなる

△安治川とぐらをを大換

△九条お島津我修家考

寺修人家五六十軒大崩



清水の

△寺修為照院のち人の

大そんど

△寺修新地寺修を

南へ入お細屋十軒斗

大崩を

△幸町東極より南へ家

二三十軒をりなる

△生玉のち店こける

# 大地震を凌ぐ新種

○長町表橋を以換ド家  
殺知くぞ

○玉生二軒を以換一丁計

東の人家大くつまその  
をを東の南に換ド殺  
者くぞ

○天々寺を以換をくぞと

森井の水の屋をくぞ  
そを換門の法を以換く  
大そんとみ重の換も  
がくくぞ

○下寺町大まん寺を以換  
此を以換を以換を以換の

破換りり

○清長江人家に以換例

○寺町西り寺町がくぞ

くぞを以換を以換を以換  
者くぞを以換を以換

住居を以換

○生玉を以換を以換

そんとりり

○長町毘沙門の大多名

例

○後若石地を以換七八を以換

例を以換を以換を以換

寺社別条



天王寺  
橋門  
の景

# 大地震震来伏劇種

○今里人家十二の形をうり  
倒まるるを飯をそんまき

○今も我の社廣田の社  
ともおぐづく控ド

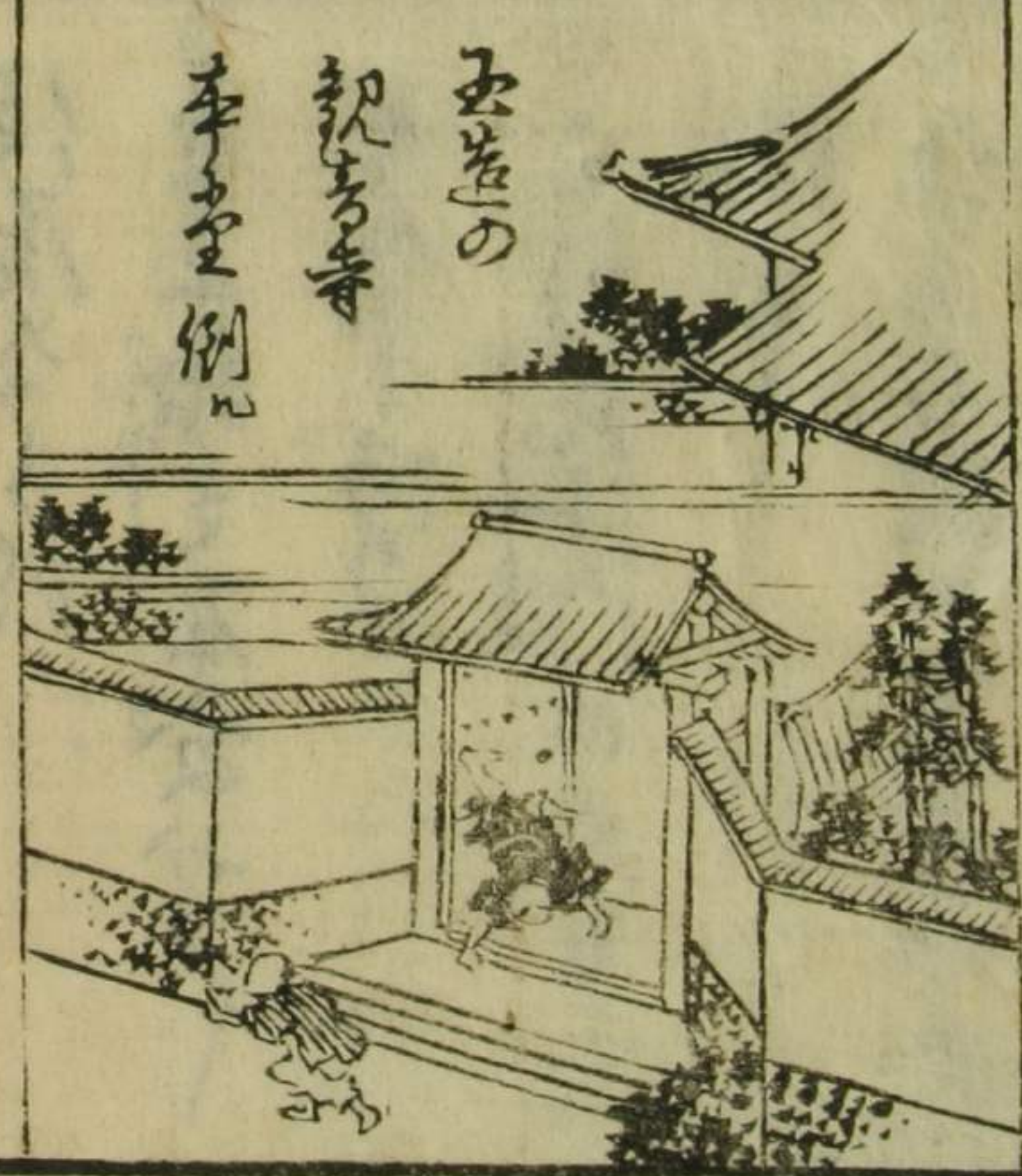
○稗治村大ゆりうそ家  
三日を毎り倒まるけが  
死人を括別り

○天下の桑屋塚崩る起て  
今もあふり新お務るホ

○そみうしとの人家合  
三十形づりり例は破換

○そらぬを殺と知らん  
本津大黒の社い破換か

○あま共社の奇特とや難  
人家十二の形例る



五岳の  
親方寺  
本堂例

○中寺町高麻子掛

へそんド

○日隣寺の本堂換ド

○下寺町源正の門換ド

○日津玉寺の本堂崩る

○寺町寺の墓所乃

ス牌八九分こける

○尾形がり芝居小屋わ

づの換ドあり

# 大地震未代劇種

雞波

狹

寺の約つづぎ

とらるるを

本寺ほんじ 塙門はな 換か どり



○雞波村人家二十軒ごり

崩くずれ さいりいしと家い ま

○尾ヶ崎市中人おし 家八十軒

ごりり崩くずれ さいりいしと家い かく

ありをい 園い まい くとい 才い 二い どんい

大い ゆい りい とい

○円い たい つい のい 後い 一い 市い 法い のい

宿い 屋い 葉い 々い せい 跡い 々い 崩い りい

○今い 津い 村い 人い 家い 十い 軒い 餘い りい

崩い りい つい くとい 家い 多い 一い

○中い 々い 橋い 々い 松い 口い 屋い 塙い 門い のい

全い 毘い 羅い 終い 々い をい 倒い してい そのい

竹い 門い 塙い 木い とい ぐい ぐい 換い ドい

全い 毘い 羅い 終い 々い をい 倒い してい そのい

うい くとい 住い 居い 家い 々い 崩い じい

○灘い 人い 家い 十い 軒い 汁い 崩い りい

いい をい さいりいしと家い まい のい

七い 八い 十い 軒い 崩い りい

○昔い 屋い 凡い 々い 六い 十い 軒い ぐい づい まい

皆い 家い 人い かくい たりい

○西い ノい 文い 人い 家い 三い 十い 四い 六い 軒い

崩い さいりいしと家い まい さいりいしと家い まい

まい ぐい 凡い 々い 三い 十い 軒い ぐい づい まい

換い ドい 家い 殺い 知い りい ぞい

○倭い 丹い 大い てい んい 有い りい 換い ドい

# 大地震未代新種

○揚州三田凡七十軒あまり  
くづきをを九ヶ村七八十

もん計り崩れは怪家<sup>けが</sup>人<sup>ご</sup>後

○河内東面よりく九人家

百又六十もん計例を

外寺社大をんト

○塚人おまち十軒ぐま

おまち大換ド殺知ぐん

○泉口以佐野人家凡二百

軒解くづき大換ド

○京部の大坂よりゆり少

○紀伊辨及の大坂より解

経ゆり烈しく人家の崩れ

駁しく大てい野<sup>のど</sup>者<sup>や</sup>後

中んはよ紙らち中来る

○丹波龜山人家凡百軒  
あまり崩る

○日<sup>その</sup>雲<sup>の</sup>人<sup>び</sup>家二百もん解

崩れ死人二百餘人けが

人殺者うぐせ

○郡山人家二十餘ぐづき

死人凡十二人怪

殺者うぐせ

○南都春日社大崩れを

居令どうろふ崩れを

町家と中崩れけが人か

○河内豊後大ゆり人家七

軒ゆり例を出火とらり

一屋を焚火押こまうぐせ

○櫻<sup>はん</sup>州<sup>しゅう</sup>右<sup>みぎ</sup>河内<sup>わに</sup>大火

地震津波をまもるにたすく

地んでんふり  
おどろく おどろち

びくく  
しとわ ぶちちち

ゆるくひよ  
ゆきま ぶちちち

はきま  
船がとらつて おろちち

船大子  
あつこ ぶちちち

つまうん  
まどおの ぶちちち

船振う船振へ  
根本でたすけ ぶちちち

はきま  
かきま ぶちちち

なんくわ ぶちちち

ゆんどとわ ぶちちち

おげうら ぶちちち

つら  
あまこ ぶちちち

あつてこ ぶちちち

よあ  
は ぶちちち

あつてこ ぶちちち

まゆんてわ ぶちちち

あつてこ ぶちちち

せが  
船とわ ぶちちち

あつてこ ぶちちち

うらつてわ ぶちちち

あつてこ ぶちちち

まん  
ゆきま ぶちちち

あつてこ ぶちちち

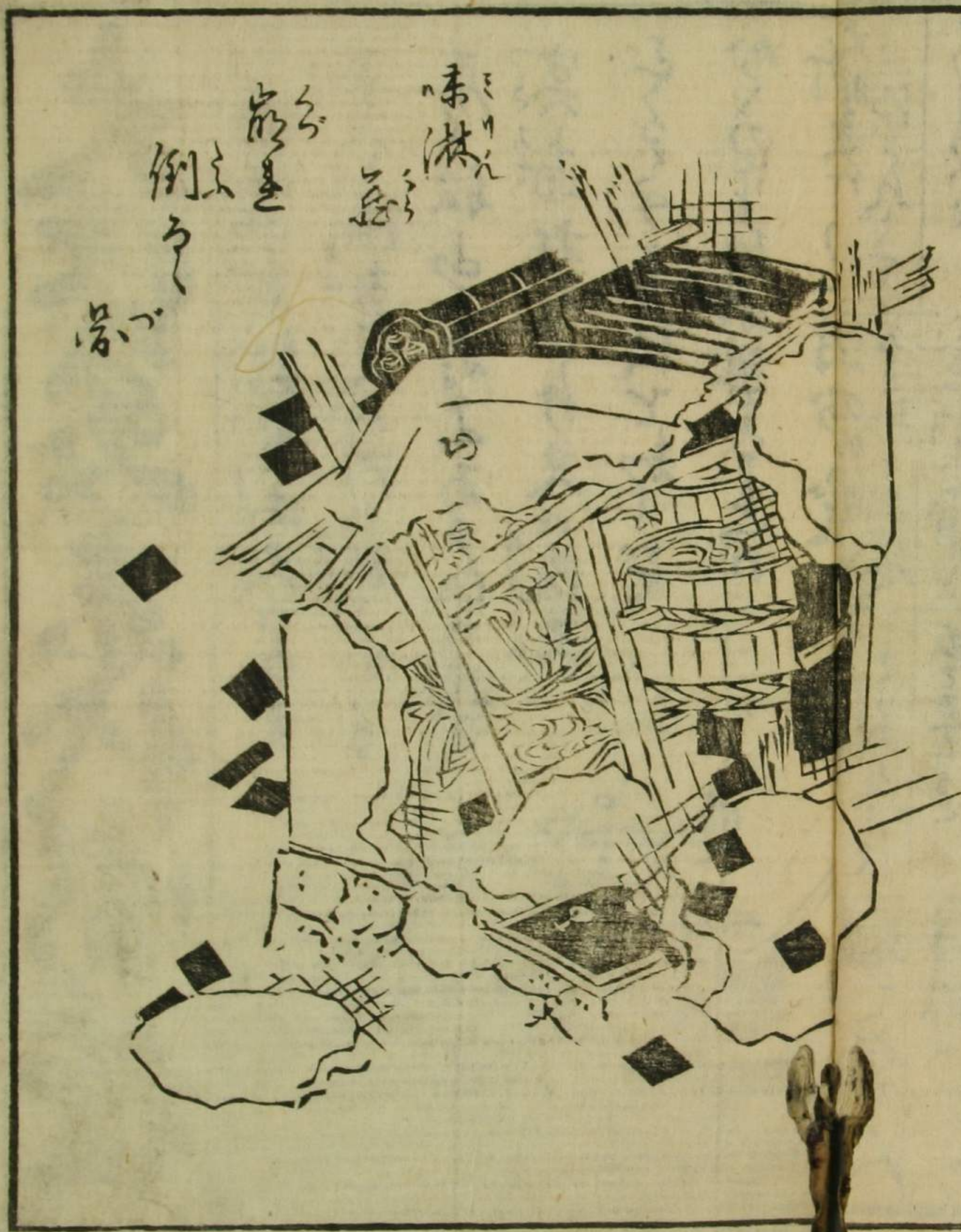
ゆら  
かり ぶちちち



# 大津波来伏劇種

ツ田

○ 榜刑<sup>でんが</sup>は<sup>が</sup>酒<sup>さけ</sup>を<sup>を</sup>味<sup>あじ</sup>淋<sup>りん</sup>蒸<sup>じょう</sup>の<sup>の</sup>ろ<sup>ろ</sup>は<sup>は</sup>大<sup>だい</sup>浪<sup>なみ</sup>も<sup>も</sup>く  
 崩<sup>くずれ</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>奇<sup>き</sup>代<sup>だい</sup>の<sup>の</sup>珍<sup>めづ</sup>り<sup>り</sup>なり  
 ○ 西<sup>にし</sup>の<sup>の</sup>美<sup>み</sup>灘<sup>なみ</sup>急<sup>いそ</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>ろ<sup>ろ</sup>も<sup>も</sup>く<sup>く</sup>浪<sup>なみ</sup>を<sup>を</sup>こ<sup>こ</sup>お<sup>お</sup>の  
 人家<sup>にや</sup>が<sup>が</sup>く<sup>く</sup>浪<sup>なみ</sup>を<sup>を</sup>そ<sup>そ</sup>ん<sup>ん</sup>ど<sup>ど</sup>ろ<sup>ろ</sup>ま<sup>ま</sup>ど<sup>ど</sup>も<sup>も</sup>大<sup>だい</sup>坂<sup>さか</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の  
 版<sup>ばん</sup>行<sup>ぎょう</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>と<sup>と</sup>く<sup>く</sup>死<sup>し</sup>人<sup>にん</sup>惨<sup>さん</sup>死<sup>し</sup>人<sup>にん</sup>が<sup>が</sup>ー

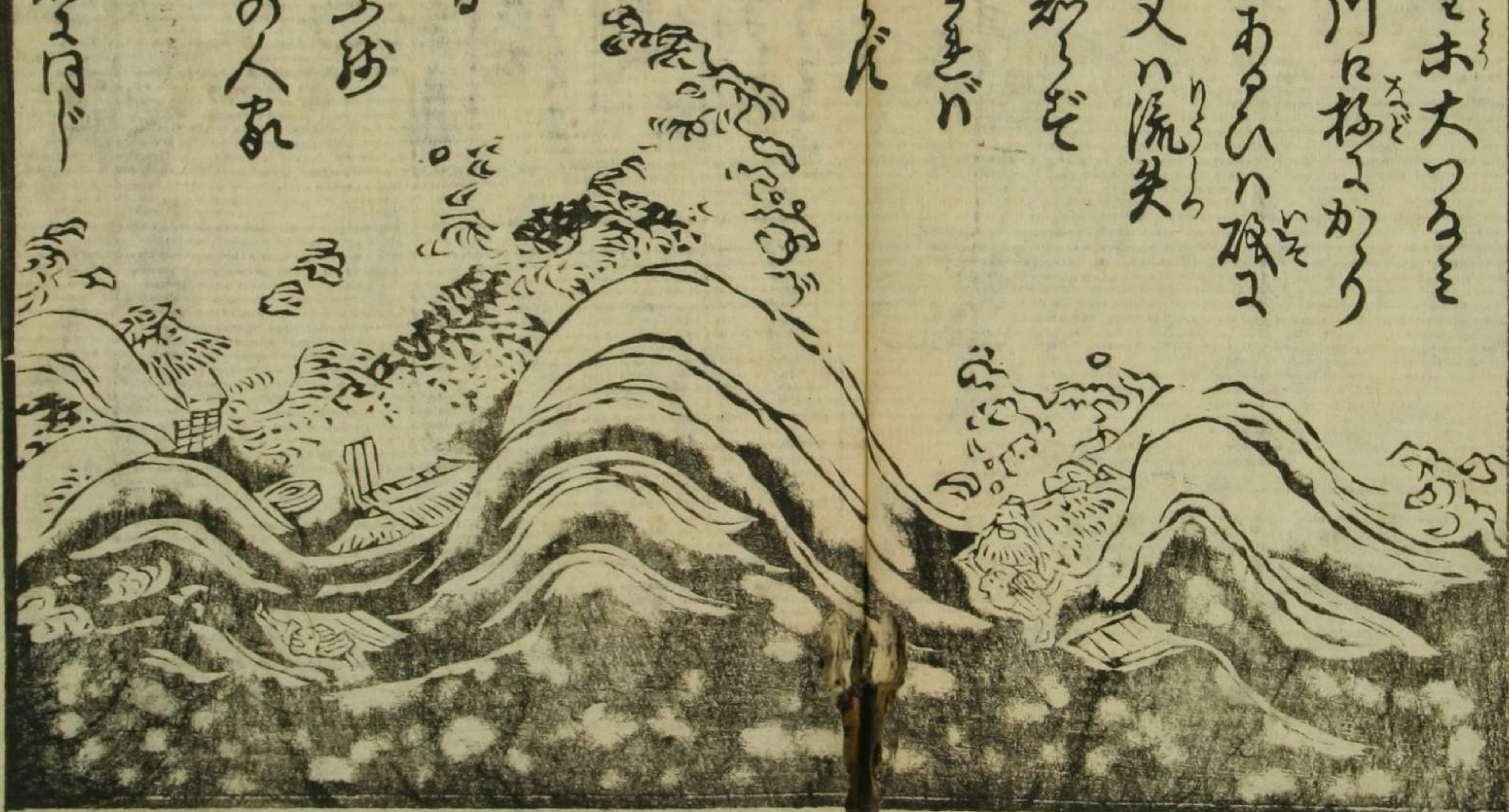




# 大正天皇御代御種

○紀伊田を無聖木大つらき  
 うまく海を又い川に極よかり  
 居る船少く打とあるい破る  
 突当打をけ又い流矢  
 ころろりそ殺と知しど  
 かくのそとれ水勢うまきり  
 折るより一村抄らん  
 中流一男女  
 死人共いし  
 ○白帆の極つらき  
 烈しく指八の落る  
 湊よかり居る船少  
 破船よお成流をの人は  
 多く流る

○同佐野大座右より



いなまき系おんらん歌

ヲヤむらう

車のまきぐ  
しの子イ びつらうまき

志づらう

おーい

大匠の  
やけ酒

あるとまらう

大匠の  
まじり

志んよ

結そおき

けいびの  
まき

あゝうらへ

まじりの  
うらへ

らうごん

藤原の  
まき

ヲヤむらう

内川へ  
大船

ゆや命  
らうごん

津まき

まじりまき  
らうごん

まじりの  
うらへ

びつらうまき

藤原の  
まき

モウ  
おんらん

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

志んよ  
うらへ

志んよ  
まき

おんらん  
まき

から家の  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

いつの時  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

げ板の  
まき

おんらん  
まき

破換  
まき

おんらん  
まき

西巻の  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

破板の  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

おんらん  
まき

他震津浪精進料理献立

津浪でふとみさうー

ゆー

汁  
小いも

たねは海川の尻久の  
あふませ

なゆと

音物

倍ちのあふん

平

志いけ

俾

まつり

表の廣地と

草棧

長いも

考

おん

小かゆ斤分て

吸お

せこ

色

水菜

# 大地震 一口ぐらゐ

はちうととびて **みづ** まぬらひのこも **ま**  
 どこも **おげ** 地しんよりめく

枚本がこけさく **さふり** 地しんでいげの **や**  
まきくうげ

今般西より **おだん** 新造さんい **わ**  
うて舞うまん ちとまうまて

船よあて死ぶ **おだま** 孫右のあつと **か**  
げいこゆめ けすぬとちんこ

みんん孫がこけ **どんぼ** あつこの中ちん **わ**  
とれたはぬを折 地しんかゆうたん

清みのわいぬ **とんぼ** ちんは後ち **お**  
地しんでけ ちをこけ ごぬの

庚辰寺の納 **ちん** ち辰の耐ちん **あ**  
屋てけ ちぬの こけい

河原のく **お** あけいぬにぬを **い**  
ちのゆちり 屋の門をこけ

若おが **せん** ちんちん **い**  
ちまんの ちんちん

紙屋の **い** ちんちん **ち**  
まきく ちんちん

乾お屋の **の** ちんちん **せ**  
のいおん ちんちん

からうやうう

# 大津名婦

あゝ—まよひたるごと。地—ん

見<sup>み</sup>おふ。ごんごう中人のやうなまじい。

ゆきよの事あり。お村のまじりや

一面は<sup>めん</sup>まよひとおと。そまことかゝるごり

み<sup>み</sup>おのまがごとけ。この大坂の

ま<sup>ま</sup>んが。おうりぐくごけと押<sup>お</sup>えん。

まよひゆつま今<sup>い</sup>たうぞくごと。

か<sup>か</sup>ゝりま<sup>ま</sup>うつま<sup>ま</sup>ね<sup>ね</sup>あ<sup>あ</sup>ゆ<sup>ゆ</sup>り

か<sup>か</sup>ゝら<sup>ら</sup>あ<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>に<sup>に</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>け<sup>け</sup>ぞ<sup>ぞ</sup>ま<sup>ま</sup>ご<sup>ご</sup>さ

あ<sup>あ</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>も<sup>も</sup>ご<sup>ご</sup>が<sup>が</sup>お<sup>お</sup>と<sup>と</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>ま</sup>げ<sup>げ</sup>て

く<sup>く</sup>み<sup>み</sup>る

笑後

勢楽作

